

令和 6 年度第 1 回社会教育委員会議定例会（第 33 期） 会議録

会議名（審議会等の名称）		令和 6 年度第 1 回社会教育委員会議定例会（第 33 期）
開催日時		令和 6 年 4 月 24 日（水曜日）午後 3 時 30 分～午後 4 時 40 分
開催場所		文化創造拠点シリウス 6 階 生涯学習センター601 講習室
出席状況	委員	10 人：伊藤（仁）委員、伊藤（能）委員、大川委員、小早川委員、小森委員、齋藤（道）委員、中山委員、長谷部委員、藤倉委員、丸田委員
	関係各課	6 人：文化スポーツ部長、文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ課長、こども部長、こども・青少年課長
	事務局	3 人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員 2 人 学び交流係（046-259-6104）
	傍聴人数	0 人
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
非公開・一部非公開の場合はその理由		
審議又は検討経過及び結果		1 会議次第 （1）開会 （2）報告事項 1）令和 6 年度社会教育関係の主要な事業について （3）協議事項 1）令和 6 年度社会教育関係団体への補助金について 2）令和 6 年度社会教育委員会議から選出する委員について 3）令和 6 年度社会教育委員に関する研修会等について 4）健康都市やまと MANABI 計画（大和市生涯学習推進計画）について （4）その他 （5）閉会 2 審議及び結果 主な内容は次のとおり <開会> <事務局から配布資料の確認> <議長あいさつ> <関係各課紹介> <報告事項> 「1）令和 6 年度社会教育関係の主要な事業」について担当課より報告 （議長）担当課からの報告に対し、質問等があればお願いしたい。 （委員）こども体験事業について、今年度から訪問先を会津若松市に変更した理由は何か。 （市）昨年度まで陸前高田市を訪問していたが、10 年経ったことを一つの節目とし、様々な体験をしてもらうということを考えてテーマや行き先を検討した。今年度もメインテーマを「繋がり」とし、身近な食に関するありがたさや大切さを考えることができる場所を探した。場所の選定については、まず豊かな土壌で子ども達が美味しい野菜と果物の収穫体験ができるということ。次に、こども・青少年課でわくわく冒険隊という事業があり、この事業で

は宿泊で千葉県や御殿場に行く活動をしており、それらの場所より少し遠く、半日程度で行ける場所ということ。最後に、関東近郊で場所を探す中で、学校行事等で訪問する機会がない福島県会津地方に決定した。

(委 員) 文化振興課の生涯学習振興基金活用支援事業について、1 団体あたりの補助金上限が 25 万円とのことだが、もう少し補助金額が多くてもよいのではないか。

(市) 総事業費が 100 万円でも 500 万円でも補助金の上限は 25 万円までとなっている。それでは公平性に欠けるのではないかということで、最大 40 万円までの補助金が出せるような仕組みを考え、要綱を改正したので、今年度の募集からそのような形に変更となる。

(委 員) 学校のプール開放について、学校のプールは老朽化により新規で作らない方針と聞いている。プールのない学校は開放できないと思うが、現在の実施の状況と、地域によつての差があるかどうかをお聞きしたい。

(市) 教育委員会の方向性と合わせ、プールがある学校については夏休みのプール開放を実施していきたいと考えている。令和 6 年度については北部が 3 校、中部が 3 校、南部が 6 校で、地域間のバランスはとれている。比較的身近なところで開催できる方法を今後も検討していきたい。

(委 員) 指定管理について、指定管理者へ支払う金額の増減について、ここ数年の動きをお聞きしたい。

(市) 現在の指定管理者は令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間の期間でお願いしている。この 5 年間の中で支払う金額はあらかじめ決まっているので、市が求める業務仕様書の内容に変更が無ければ、金額の変更はない。

<協議事項>

「1) 令和 6 年度社会教育関係団体への補助金」について、担当課より説明。

(議 長) 事務局からの説明に対し、質問等があればお願いしたい。

(委 員) 子ども会の現状について、団体数が減少しているのかをお聞きしたい。

(市) 令和 5 年度は、24 団体あり、子どもが 1,411 人、育成者が 204 人、合計で 1,615 人。令和 4 年度の 25 団体から 1 団体減少していたが、令和 6 年度はその団体が活動を再開させるため 25 団体に戻っている。

(委 員) 子ども会や母親クラブについて、事業収入は無いのか。会計報告を見ても、事業で収入を得ているという項目は無い。社会教育関係団体が収益を上げるということは少し問題もあるが、やはり自助努力をしなければならないと思う。

(市) 確認して後日回答する。

⇒回答：市として、収入については決算書のとおり、市補助金の他、他団体からの補助金と把握している。

(議 長) 他に質問は無いか。無ければ今年度の社会教育団体への補助金に

ついて承認してよいか。

(委 員) 異議なし。

～休憩～ (関係各課退席)

～再開～

「2) 令和6年度社会教育委員会議から選出する委員」について
以下のとおり決定

- ① 生涯学習振興基金審査委員 (任期1年: 令和6年6月1日～)
…伊藤(仁)委員、藤倉委員
- ② 青少年問題協議会委員 (任期2年: 令和6年6月1日～)
…丸田委員
- ③ 子ども読書活動推進会議委員 (任期3年: 令和6年6月1日～)
…大川委員
- ④ 神奈川県社会教育委員連絡協議会理事 (任期1年: 令和6年6月1日～)
…丸田委員
- ⑤ 文化創造拠点等運営審議会委員 (任期2年: 令和6年9月1日～)
…齋藤(道)委員

「3) 令和6年度社会教育委員に関する研修会等」について
以下のとおり決定

- ① 県社会教育委員連絡協議会総会
…全員 (中山委員欠席)
- ② 県社会教育委員連絡協議会研修会
…大川委員、小森委員
- ③ 社会教育委員連絡会議
…齋藤委員、中山委員、丸田委員
- ④ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (海老名市)
…伊藤(仁)委員、伊藤(能)委員
- ⑤ 知ることからはじめる人権啓発研修講座
…小早川委員、長谷部委員
- ⑥ 県公民館連絡協議会第66回県公民館大会
…小森委員、中村委員
- ⑦ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (大磯町)
…藤倉委員

「4) 健康都市やまとMANABI計画 (大和市生涯学習推進計画)」につ
いて、事務局より説明。

(市) 令和6年度を以て、健康都市やまとMANABI計画 (生涯学習
推進計画) の計画年が終了することから、今年度、次期生涯学習
推進計画を策定する。位置づけとしては、「大和市学校教育基本
計画」とともに、「大和市の教育振興基本計画」を担い、学校教
育以外の部分を網羅する計画であり、計画年は、令和7年から令
和11年 (2025～2029年度) までの5年間、新大和市総合計画の

	計画年に合わせる。 生涯学習において社会教育は中核的な機能をなすことから、社会教育委員会議、大和市教育委員会、大和市生涯学習推進調整会議（庁内検討会議）での検討を予定している。 続いて、計画策定までのスケジュールについて、元の資料でご説明する。（計画策定までのスケジュールについては、別紙資料のとおり説明。） 本計画には青少年教育・図書館・文化芸術・文化財・スポーツ及び、社会教育委員会議で昨年度作成した提言書『子どもの育ちを支える家庭教育の支援のあり方について』の内容を反映し、教育委員会の点検・評価となりうることを計画に盛り込みたいと考えている。 （議 長）現在の健康都市やまとMANABI計画は、今年度まで1年延伸する決定がされたが、来年度に向けて新たな計画を策定するという事で、スケジュール等を事務局より説明していただいた。何か質問はあるか。 （委 員）教育委員会協議会とはどのような会議か。 （ 市 ）教育長及び教育委員が事業提案等を議論する場である。 （議 長）他に質問が無ければ、事務局から説明があったとおり進めていただきたい。次回の日程について、事務局より願います。 （ 市 ）次回は令和6年度第2回定例会議を7月に開催予定である。7月1日（月）から5日（金）までの5日間で、出席可能委員の多い日にしたいと考えている。本日欠席の中村委員は全日程出席可能と聞いている。 ～各委員に確認～ 全委員出席可能な7月1日（月）に決定する。事務局からは以上である。 （議 長）これにて議事を終了とする。 <閉会>
会議資料	・ 令和6年度社会教育関係の主要な事業 ・ 令和6年度社会教育関係団体への補助金 ・ 社会教育関係団体の令和5年度事業報告・決算報告（4団体） 令和6年度事業計画・予算（4団体） ・ 令和6年度社会教育委員会議から選出する委員 ・ 令和6年度社会教育委員に関する研修会等 ・ 生涯学習推進計画の策定にあたって（案）